

風土記の丘の花だより³³⁷

今、そしてこれから見られる植物(2026年9月6日)

これを書いている時点(2日水曜日午前)では雨が降らず、あたりはカラカラに乾いていました。週末には傘マークが出ていましたが、果たして降ったのでしょうか。大池の水がずいぶん少なくなっています。そして新池(藤棚の横の小さな池)に至っては干上がり、ひび割れています。水面を覆い尽くしていた水草のアサザは大丈夫でしょうか。何とか乗り切ってほしいものです。



大池の水辺が広がったおかげ(?)でチョウジタデの花がたくさん咲いているのを見ることができます。残念ながら下りて近くに行ってみることはできませんが、上からでも黄色い花を見ることができます。この花は新池でも見られましたが、ここ何年か開花を見ることはありませんでした。葉の形がタデ似ているので、名前に「タデ」と付いていますが、タデ科ではなくアカバナ科の仲間です。ですから、マツヨイグサなどと同じ仲間ですね。



ハクモクレンの咲く広場に、アメリカキンゴジカの花がたくさん咲いています。どこで区切ればいいのかわからない、ややこしい名前ですが、アメリカから来たキンゴジカです。キンは黄色のこと、ゴジは午後の時間帯、カは花のことです。もっとスマートな名前はなかったのでしょうかねえ。土木工事などの車が行き交う所など、かく乱された所で、最近よく見かけるようになりました。小さな花はさほど華やかでもなく、雑草として引き抜かれることが多いと思いますが、炎天下に頑張っているように見えますよ。見てやってください。



よく見ないとどこに花が咲いているのかわかりませんね。カエデドコロの花です。この草には雌雄があって、花がこんなにまばらに咲いているのは雌株に咲く雌花です。雄花はも



っとゴチャゴチャと咲きます。トコロとは、ヤマノイモの仲間を指す名前で、葉がカエデのように切れ込んでいるのでこんな名前になりました。



他の木に巻き付き、覆い被さるように伸びるセンニンソウに白い花がいっぱい咲いています。写真の中央下あたりですが、わかりますか?一つ一つの花は十字の形をしています。花びらのように見えるのは萼(がく)だそうですよ。真ん中に雄しべや雌しべがあって、白いひげのように見えます。園芸種のクレマチスなどと同じ仲間です。

松下